

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和2年12月1日 至 令和3年11月30日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団 鈴木小児科医院

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 山口県宇部市今村北四丁目26番15号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 1年 7月10日

(4) 設立登記年月日 平成 1年 7月24日

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	医療法人社団 鈴木小児科医院	宇部市今村北四丁目26-15	0

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 2年 1月21日 令和1年度決算の決定

令和 3年11月30日 令和3年度の事業計画及び収支予算の決定

様式 2

法人名 医療法人社団 鈴木小児科医院

※医療法人整理番号

所在地 山口県宇部市今村北四丁目26番15号

財 産 目 録

(令和 3年11月30日現在)

1. 資 産 額	261,146 千円
2. 負 債 額	178,345 千円
3. 純 資 産 額	82,801 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	156,163
B 固 定 資 産	104,983
C 資 産 合 計 (A+B)	261,146
D 負 債 合 計	178,345
E 純 資 産 (C-D)	82,801

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3-2

法人名 医療法人社団 鈴木小児科医院

※医療法人整理番号

所在地 山口県宇部市今村北四丁目2番15号

貸 借 対 照 表

(令和 3年11月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	156,163	I 流 動 負 債	49,373
II 固 定 資 産	104,983	II 固 定 負 債	128,972
1 有 形 固 定 資 産	73,716		
2 無 形 固 定 資 産	298	負 債 合 計	178,345
3 そ の 他 の 資 産	30,969	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		I 出 資 金	4,257
		II 積 立 金	78,544
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	82,801
資 産 合 計	261,146	負債・純資産合計	261,146

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式4-2

法人名 医療法人社団 鈴木小児科医院

※医療法人整理番号

所在地 山口県宇部市今村北四丁目26番15号

損 益 計 算 書
(自 令和2年12月1日 至 令和3年11月30日)

(単位: 千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	279,510
2 事業費用	236,098
本来業務事業利益	43,412
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	
事業利益	43,412
II 事業外収益	45,831
III 事業外費用	296
経常利益	88,947
IV 特別利益	241
V 特別損失	662
税引前当期純利益	88,526
法人税等	
当期純利益	88,526

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。